

道南太平洋海域スケトウダラニュース

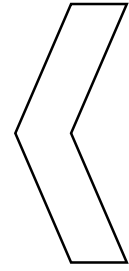
平成20年度 第3号

2008年11月28日

北海道立栽培水産試験場
調査研究部

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船金星丸（函館水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・ 調査期間：平成20年11月17日～19日、11月25日～26日
- ・ 調査海域：渡島・胆振・日高支庁管内の水深100～500m太平洋海域

- ・ 魚群は渡島から日高までの調査海域全域に広く分布
- ・ 分布水深は150～400m
- ・ スケトウダラの反応量は前回調査（9月）より大幅に増加

- 1．おまたせしました！！ ようやくスケトウダラの大きな魚群が来遊したようです。渡島から日高までの全域でスケトウダラと考えられる魚群が観察されました。分布水深は150mから400mの広い範囲にありました（図1、2）。
- 2．渡島海域の分布水深は200～400mで、特に350m前後に強い反応が見られました。胆振・日高海域では水深150mくらいから魚群が分布しており、渡島海域より浅い水深250～350m台に強い反応が見られました（図2、3）。
- 3．調査海域におけるスケトウダラの平均反応量は前回（9月）調査より大幅に増加しました。分布量は昨年（平成19年）同時期よりは低く、一昨年（平成18年）と同程度と考えられます。
- 4．魚群の分布状態から判断して、今後漁獲量は増加していくと予想されます。
- 5．次回の調査は1月中下旬を予定しています。
- 6．スケトウダラニュースはインターネットで栽培水試ホームページからもご覧になれます。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

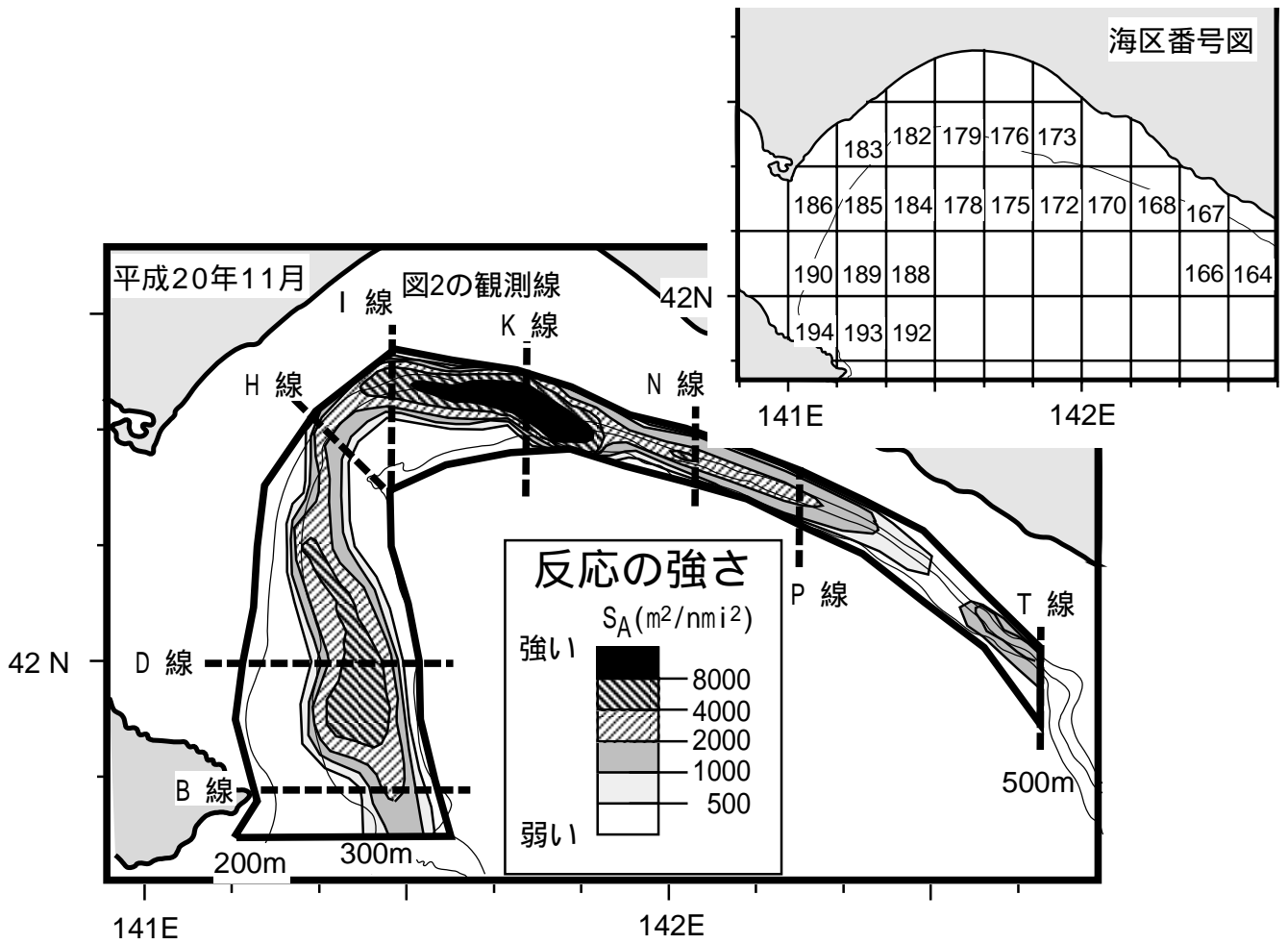


図1．調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

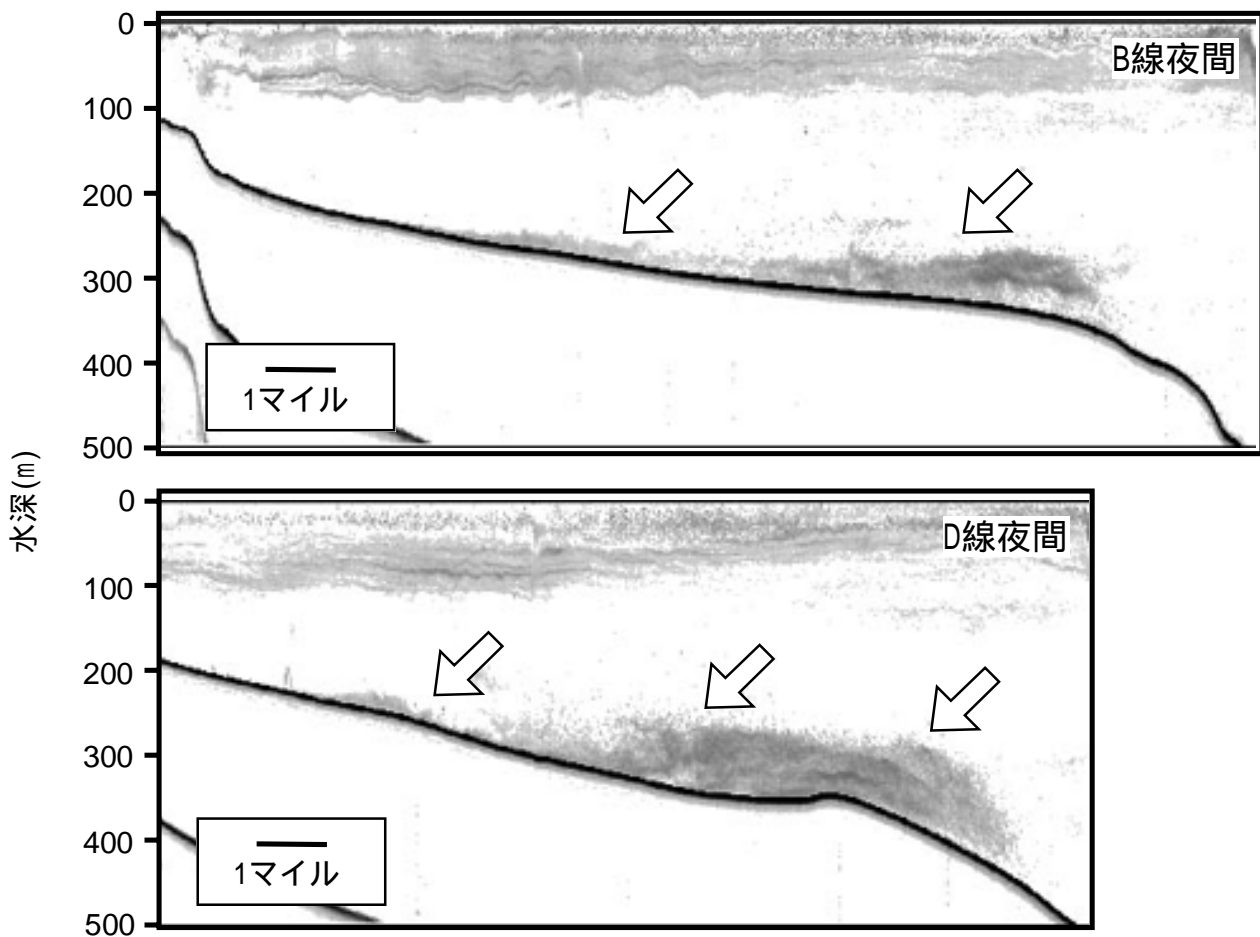


図2 魚群の分布（計量魚探画像）

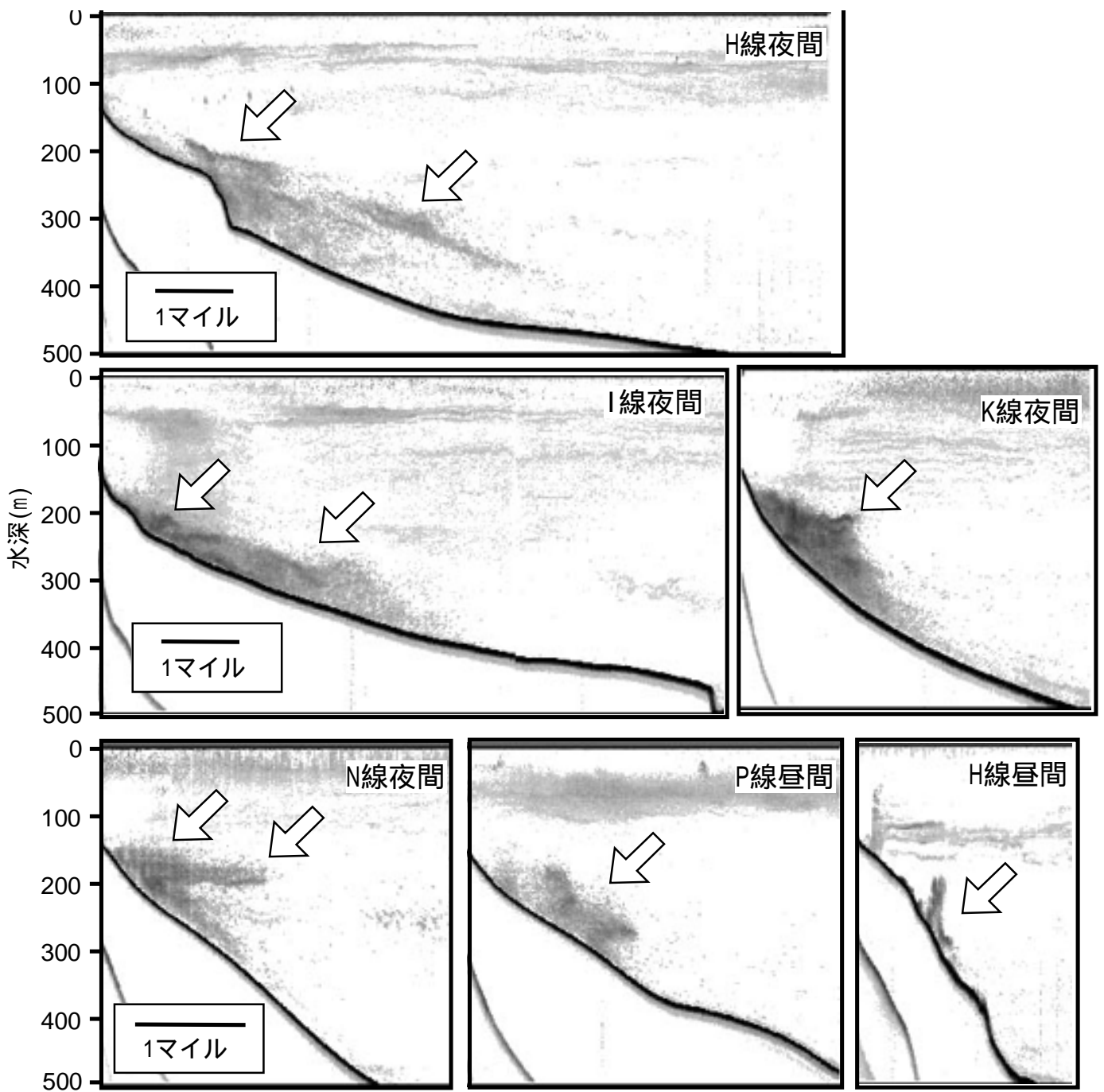


図2．魚群の分布（計量魚探画像）つづき

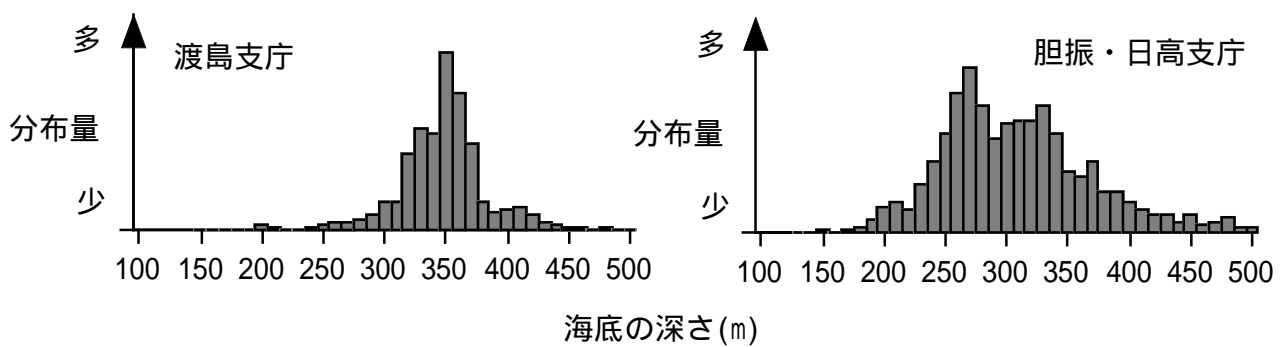


図3．水深と分布量
左：渡島支庁 右：胆振支庁